

令和2年10月の観光客の動向

1 概要

令和2年10月における調査対象ホテル・旅館82施設の宿泊客数（宿泊延べ人数）は、合計238,128人で、前年同月比18.1%減となった。このうち外国人は、243人で前年同月比99.1%減となった。

令和2年10月における調査対象観光施設・ドライブイン24施設の入場・来場者数（延べ人数）は、合計296,599人で、前年同月比38.4%減となった。

(単位:人、%)

	延べ宿泊客数 延べ入場・来場者数	前年同月比	動向
全体	238,128	▲ 18.1	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに減少。 ・国内はほぼ全ての地域からの宿泊客が減少。 ・海外は全ての国・地域からの宿泊客が減少。 ・個人客、団体客ともに減少。
外国人客	243	▲ 99.1	・新型コロナウイルス感染症の影響から、香港、中国、台湾、韓国を中心に前年を大きく下回った。
主要観光施設 ドライブイン	296,599	▲ 38.4	・新型コロナウイルス感染症の影響から、前年を大きく下回った。

2 主な地区別の動向

(単位:人、%)

	延べ宿泊客数	前年同月比	動向
鹿児島地区	84,286	▲ 33.0	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに減少。 ・国内は全ての地域からの宿泊客が減少。 ・海外は全ての国・地域からの宿泊客が減少。 ・個人客、団体客ともに減少。
指宿地区	34,832	▲ 21.5	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに減少。 ・国内はほぼ全ての地域からの宿泊客が減少。 ・海外は全ての国・地域からの宿泊客が減少。 ・個人客、団体客ともに減少。
霧島地区	47,266	▲ 6.0	・国内からの宿泊客は増加、海外からの宿泊客は減少。 ・国内はほぼ全ての地域からの宿泊客が減少したものの、県内客は大きく増加。 ・海外は全ての国・地域からの宿泊客が減少。 ・個人客は増加、団体客は減少。
北薩地区	10,796	▲ 5.1	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに減少。 ・国内は関東・関西・九州からの宿泊客が増加。とくに県内客が大きく増加。 ・海外は全ての国・地域からの宿泊客が減少。 ・個人客は減少。団体客は一般団体・企画ツアーが減少したものの、大会参加と修学旅行が増加し、団体客全体としては増加。
大隅地区	12,289	+11.2	・国内からの宿泊客は増加。海外からの宿泊客は減少。 ・国内は九州からの宿泊客が増加。とくに県内客が大きく増加。 ・海外は全ての国・地域からの宿泊客が減少。 ・個人客は増加。団体客は一般団体・企画ツアーが増加したものの、教育旅行が減少し、団体客全体としては減少。
種子島地区	5,335	▲ 6.4	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに減少。 ・国内は関西からの宿泊客は増加したものの、中国地方からの宿泊客が減少。 ・海外は全ての国・地域からの宿泊客が減少。 ・個人客は増加。団体客は減少。
屋久島地区	12,971	▲ 8.9	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに減少。 ・国内は関東からの宿泊客は増加したものの、中国地方、中部からの宿泊客が減少。 ・海外は全ての国・地域からの宿泊客が減少。 ・個人客は増加。団体客は減少。
奄美地区	28,350	+8.6	・国内からの宿泊客は増加。海外からの宿泊客は減少。 ・国内は関西、九州、四国からの宿泊客が増加。 ・海外は全ての国・地域からの宿泊客が減少。 ・個人客は増加。団体客は大会参加が減少したものの、一般団体・企画ツアーと教育旅行が増加し、団体客全体としては増加。
その他地区	2,003	+12.0	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに減少。 ・国内は九州からの宿泊客が増加。 ・個人客は減少。団体客は一般団体・企画ツアーが減少したものの、大会参加が増加し、団体客全体としては増加。

【「宿泊施設」「観光施設・ドライブイン」全体の動向】

宿泊施設と観光施設・ドライブイン 総合(延べ人数)

令和2年10月

(単位:人、%)

	対象施設	宿泊者数 入場・来場者数	前年同月	前年比	参考: R1年前年比 (R1/H30)
主要宿泊施設	82	238,128	290,672	▲ 18.1	▲ 6.1
主要観光施設 ドライブイン	24	296,599	481,170	▲ 38.4	▲ 4.2

【主要宿泊施設の宿泊者】

宿泊客数(延べ人数)

(単位:人、%)

	令和2年10月	前年同月	前年比	参考: R1年前年比 (R1/H30)
合計	238,128	290,672	▲ 18.1	▲ 6.1
鹿児島地区	84,286	125,747	▲ 33.0	▲ 0.8
指宿地区	34,832	44,378	▲ 21.5	▲ 14.5
霧島地区	47,266	50,286	▲ 6.0	▲ 13.2
北薩地区	10,796	11,377	▲ 5.1	▲ 1.7
大隅地区	12,289	11,050	+11.2	▲ 9.6
種子島地区	5,335	5,702	▲ 6.4	▲ 3.7
屋久島地区	12,971	14,238	▲ 8.9	+14.9
奄美地区	28,350	26,105	+8.6	▲ 7.8
その他	2,003	1,789	+12.0	▲ 30.9

【観光施設・ドライブイン】

入場・来場者数(延べ人数)

(単位:人、%)

	令和2年10月	前年同月	前年比	参考: R1年前年比 (R1/H30)
合計	296,599	481,170	▲ 38.4	▲ 4.2
観光施設	241,936	402,005	▲ 39.8	▲ 2.0
ドライブイン	54,663	79,165	▲ 31.0	▲ 11.5

【 発地別宿泊客数の動向 】

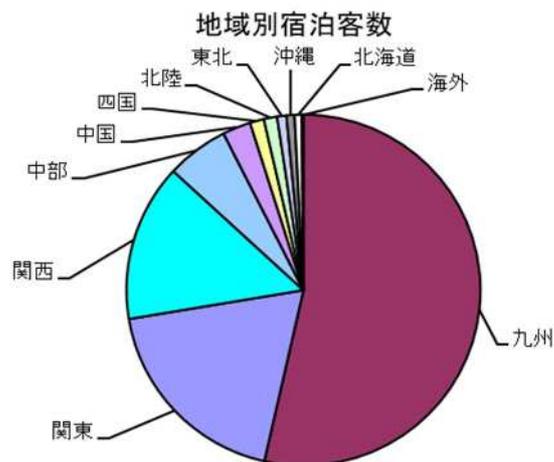
1 地域別

宿泊客数を地域別にみると、九州 91,633 人（構成比 53.6%）が最も多く、次いで関東 32,214 人（同 18.8%）、関西 24,792 人（同 14.5%）の順となっている。

地域別宿泊客数(延べ人数)

(単位：人、%)

	令和2年10月 (構成比)	前年同月	前年比
合計	171,173 (100.0)	217,089	▲ 21.2
北海道	1,118 (0.7)	1,937	▲ 42.3
東北	1,453 (0.8)	2,466	▲ 41.1
関東	32,214 (18.8)	44,050	▲ 26.9
北陸	2,079 (1.2)	2,593	▲ 19.8
中部	9,737 (5.7)	13,299	▲ 26.8
関西	24,792 (14.5)	24,188	+2.5
中国	4,416 (2.6)	9,024	▲ 51.1
四国	2,186 (1.3)	2,334	▲ 6.3
九州	91,663 (53.6)	87,623	+4.6
沖縄	1,272 (0.7)	1,853	▲ 31.4
海外	243 (0.1)	27,722	▲ 99.1



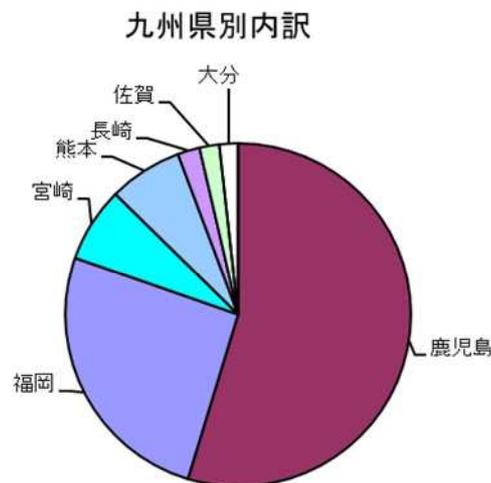
注：地域別回答があった先の集計のため、宿泊数全体とは一致しない
四捨五入のため、合計と内訳が一致しないところがある

2 九州県別内訳

九州からの宿泊客数を県別にみると、県内 50,144 人（構成比 54.7%）が最も多く、次いで福岡 23,513 人（同 25.7%）、宮崎 6,482 人（同 7.1%）が続いている。

(単位：人、%)

	令和2年10月 (構成比)	前年同月	前年比
合計	91,663 (100.0)	87,623	+4.6
福岡	23,513 (25.7)	22,674	+3.7
佐賀	1,693 (1.8)	2,283	▲ 25.8
長崎	1,890 (2.1)	2,626	▲ 28.0
熊本	6,337 (6.9)	7,956	▲ 20.3
大分	1,604 (1.7)	2,115	▲ 24.2
宮崎	6,482 (7.1)	8,350	▲ 22.4
鹿児島	50,144 (54.7)	41,619	+20.5



注：地域別回答があった先の集計のため、宿泊数全体とは一致しない
四捨五入のため、合計と内訳が一致しないところがある

3 国・地域別内訳

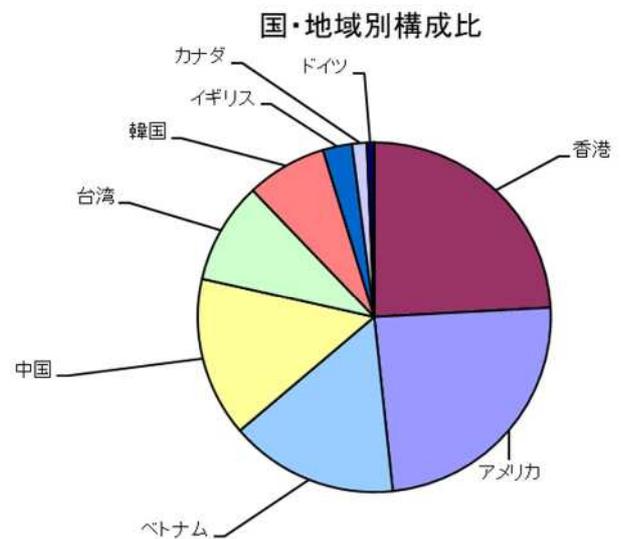
海外からの宿泊客のうち、アジア地域別にみると、香港 36 人（構成比 14.8%）が最も多く、ベトナム 23 人（同 9.5%）、中国 22 人（同 9.1%）、台湾 14 人（同 5.8%）、韓国 11 人（同 4.5%）などの順となっている。新型コロナウイルス感染症の影響から、香港、中国、台湾、韓国を中心に前年を大きく下回った。

また、アジア以外の地域は、アメリカ 36 人（同 14.8%）、イギリス 4 人（同 1.6%）などとなった。

国・地域別内訳(延べ人数)

(単位:人、%)

	令和2年10月 (構成比)	前年同月	前年比
合計	243 (100.0)	27,722	▲ 99.1
香港	36 (14.8)	7,183	▲ 99.5
アメリカ	36 (14.8)	782	▲ 95.4
ベトナム	23 (9.5)	54	▲ 57.4
中国	22 (9.1)	6,162	▲ 99.6
台湾	14 (5.8)	7,514	▲ 99.8
韓国	11 (4.5)	1,639	▲ 99.3
イギリス	4 (1.6)	610	▲ 99.3
カナダ	2 (0.8)	159	▲ 98.7
ドイツ	1 (0.4)	294	▲ 99.7
タイ	0 (0.0)	304	全減
シンガポール	0 (0.0)	454	全減
オーストラリア	0 (0.0)	278	全減
フランス	0 (0.0)	264	全減
マレーシア	0 (0.0)	211	全減
インド	0 (0.0)	28	全減
その他	94 (38.7)	1,786	▲ 94.7



注：国・地域別回答があった先の集計のため、地域別宿泊客数とは一致しない
四捨五入のため、合計と内訳が一致しないところがある

【形態別宿泊客数の動向】

宿泊客を形態別にみると、個人客（含む家族・小グループ）が 161,858 人（構成比 86.8%）、団体客（15名以上）は 24,680 人（同 13.2%）となった。

形態別宿泊客数(延べ人数)

(単位:人、%)

	令和2年10月 (構成比)	前年同月	前年比
合計	186,538 (100.0)	232,704	▲ 19.8
個人客(含む家族・小グループ)	161,858 (86.8)	179,454	▲ 9.8
団体客(15名以上)	24,680 (13.2)	53,250	▲ 53.7
内			
団体小計	24,680 (100.0)	53,250	▲ 53.7
一般団体・企画商品	12,423 (50.4)	37,899	▲ 67.2
大会	1,022 (4.1)	2,835	▲ 64.0
修学旅行	11,235 (45.5)	12,516	▲ 10.2

注：回答のあった先のみの集計のため、全体合計とは一致しない

【 宿泊単価・売上金額・購入単価の動向 】

1 宿泊単価

宿泊単価のうち、客室単価は、前年同月と比較して「高い」と答えた施設は 25.3%、「前年並み」と答えた施設は 40.0%、「低い」と答えた施設は 34.7%となった。

付帯消費額については、前年同月比で「高い」は 28.4%、「前年並み」は 39.2%、「低い」は 32.4%となった。

宿泊単価

令和2年10月 (単位:%)

	客室単価	付帯消費額
合 計	100.0	100.0
高 い	25.3	28.4
前年並み	40.0	39.2
低 い	34.7	32.4

2 売店の売上金額・購入単価

観光施設・ドライブインの売店の売上金額については、前年同月と比較して「増加」と答えた施設は 5.6%、「前年並み」と答えた施設は 11.1%、「減少」と答えた施設は 83.3%となった。

また、1人当たりの購入単価については、前年同月比で「高い」は 22.2%、「前年並み」は 33.3%、「低い」は 44.5%となった。

売上金額・購入単価

令和2年10月 (単位:%)

	売上金額	購入単価
合 計	100.0	100.0
増 加	5.6	22.2
前年並み	11.1	33.3
減 少	83.3	44.5

【 11・12月の宿泊客数、入場・来場者数見込みの動向 】

1 宿泊客数の見込み

11月の宿泊客数の見込みについては、前年同月と比較して32.4%の施設が「増加」と答えた。「昨年並み」と答えた施設は16.2%となった。「減少」と答えた施設は51.4%となった。

12月の宿泊客数の見込みについては、前年同月と比較して31.1%の施設が「増加」と答えた。「昨年並み」と答えた施設は14.9%となった。「減少」と答えた施設は54.0%となった。

宿泊客数の見込み(前年同月比)

令和2年10月 (単位:%)

		11月見込み	12月見込み
合計		100.0	100.0
増加	50%以上	5.4	6.8
	30~50%	8.1	5.4
	1~30%	18.9	18.9
昨年並み		16.2	14.9
減少	1~30%	25.7	27.0
	30~50%	17.6	13.5
	50%以上	8.1	13.5

※四捨五入のため、合計と内訳が一致しないところがある

2 観光施設・ドライブインの入場・来場者数の見込み

観光施設・ドライブインの11月の入場・来場者数の見込みについては、前年同月と比較して5.9%の施設が「増加」と答えた。「昨年並み」と答えた施設は11.8%となった。「減少」と答えた施設は82.3%となった。

12月の入場・来場者数の見込みについては、前年同月と比較して11.8%の施設が「増加」と答えた。「昨年並み」と答えた施設は11.8%となった。「減少」と答えた施設は76.4%となった。

入場・来場者数の見込み(前年同月比)

令和2年10月

(単位:%)

		11月見込み	12月見込み
合計		100.0	100.0
増加	50%以上	0.0	5.9
	30~50%	0.0	0.0
	1~30%	5.9	5.9
昨年並み		11.8	11.8
減少	1~30%	23.5	29.4
	30~50%	52.9	41.1
	50%以上	5.9	5.9

調査の概要

本県の最新の観光客の動向を定期的に把握し、本県観光の誘致対策等に役立てるとともに、観光関係者のビジネスや効果的な事業展開などにも広く活用していただくため、県内主要宿泊施設、観光施設等への宿泊・入り込み状況について、アンケート調査を実施いたしました。

・調査期間 令和2年10月1日～10月31日

調査項目

- | | | |
|-----------------|---|---|
| ホテル・旅館 | } | <ul style="list-style-type: none"> ① ホテル・旅館の全宿泊者数（延べ人数） ② 方面別宿泊者数（国内地域、海外） ③ 海外宿泊者数（国・地域別内訳） ④ 宿泊単価（客室単価、付帯消費額）
対前年比「高い」、「昨年並み」、「低い」から選択 ⑤ 11、12月の宿泊客数見込み（対前年比「増加」、「昨年並み」、「減少」から選択し、増減割合を「1～30%」、「30～50%」、「50%以上」から選択） |
| 観光施設・
ドライブイン | } | <ul style="list-style-type: none"> ① 入場者来場者数（延べ人数） ② 売店売上金額（対前年比「増加」、「昨年並み」、「減少」から選択） ③ 一人当たり購入金額（対前年比「上昇」、「昨年並み」、「下落」から選択） ④ 11、12月の入場・来場者数見込み（対前年比「増加」、「昨年並み」、「減少」から選択し、増減割合を「1～30%」、「30～50%」、「50%以上」から選択） |

調査対象

(1) ホテル・旅館	82 施設	鹿児島地区	18
		指宿地区	11
		霧島地区	12
		種子島地区	5
		屋久島地区	5
		奄美地区	12
		大隅地区	9
		北薩地区	6
		その他地区	4
(2) 観光施設	19 施設		
(3) ドライブイン	5 施設		